# 2027年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日


上場会社名　株式会社 ピエトロ　　上場取引所　東
コード番号　2818　URL https://www.pietro.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　泰行
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員 事業推進室長　(氏名) 池田　章朗　TEL 092-724-4927

半期報告書提出予定日　2026年11月13日
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有　(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年3月期中間期 | 6,708 | 11.6 | 93 | 38.3 | 22 | ― | △41 | ― |
| 2026年3月期中間期 | 6,010 | 9.6 | 67 | △30.8 | △30 | ― | △44 | ― |

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　△30百万円　(―%)　2026年3月期中間期　△52百万円　(―%)

| | 1株当たり中間純利益 | 潜在株式調整後1株当たり中間純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年3月期中間期 | △6.03 | ― |
| 2026年3月期中間期 | △6.51 | ― |

### (2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年3月期中間期 | 17,483 | 6,051 | 34.6 |
| 2026年3月期 | 14,322 | 6,210 | 43.4 |

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　6,051百万円　2026年3月期　6,210百万円

## 2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期 | ― | 0.00 | ― | 24.00 | 24.00 |
| 2027年3月期 | ― | 0.00 | | | |
| 2027年3月期(予想) | | | ― | 24.00 | 24.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

## 3. 2027年 3月期の連結業績予想(2026年 4月 1日～2027年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 13,000 | 7.0 | 70 | △64.5 | △110 | ― | △171 | ― | △24.64 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2027年3月期中間期 | 7,062,230 株 | 2026年3月期 | 7,062,230 株 |
| ② 期末自己株式数 | 2027年3月期中間期 | 113,002 株 | 2026年3月期 | 134,282 株 |
| ③ 期中平均株式数 (中間期) | 2027年3月期中間期 | 6,934,028 株 | 2026年3月期中間期 | 6,912,708 株 |

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1．当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(中間決算説明会及び中間決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2026年11月13日 (金) にアナリスト向け中間決算説明会を開催する予定です。
中間決算補足説明資料については、説明会当日に会場にて配布及び説明会終了後に当社ＨＰに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
(継続企業の前提に関する注記) …… 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 9
(中間連結損益計算書に関する注記) …… 9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) …… 9
(セグメント情報等の注記) …… 10
(重要な後発事象) …… 10

# １．当中間決算に関する定性的情報

## （１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2026年4月１日から2026年９月30日）におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により、景気の緩やかな回復基調が続いています。一方で中東情勢をはじめとする国際情勢の緊迫化や物価高の長期化、急激な為替変動や金利の上昇等、経済の下振れリスク要因も多く、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

食品業界では原材料調達価格の高止まりや、物価上昇による消費者の節約志向が常態化する一方で、外食業界においては、継続的な賃上げ効果等により外食需要は堅調に推移していますが、原材料やエネルギー価格の高騰、人件費上昇等、引き続き経営環境は厳しいものとなっています。

このような状況下において、当社グループは、「ファンを大切にする」という理念のもと、ファンベース経営の継続を行うとともに、商品事業、店舗事業それぞれが持つ強みを活かし、シナジー効果を最大限に発揮した施策を行ってまいりました。

売上面では、商品事業は、エリア戦略とファンベースをさらに推進し、主力のドレッシングや冷凍食品が大きく伸びたことが売上増に大きく貢献したとともに、新たな育成分野と位置づけるデリカ・フードサービス事業や海外輸出事業も好調に推移しました。また、店舗事業はメニュー施策の他、さらなるホスピタリティ向上のための人財育成や職場環境作りに取り組んだこと等により、既存店、新店ともに大きく伸長しました。さらに、メディア露出の効果もあり、商品事業、店舗事業ともに売上を伸ばしました。

利益面では、原材料価格やエネルギーコストの高騰、新工場稼働に伴う一時的な移転費用、減価償却費の増加、海外子会社における製造委託費上昇等により、原価率が前年同期に比べ2.5ポイント上昇しました。また、販売管理費についても、人件費の増加に加え、海外子会社の物流費や販売促進費等が増加しましたが、売上が好調だったことによりグループ全体の営業利益は増益となりました。

その他、営業外費用として、新工場取得のための借入等による支払利息73百万円を計上しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は67億８百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は93百万円（前年同期比38.3%増）、経常利益は22百万円（前年同期は30百万円の損失）、親会社株主に帰属する中間純利益は、前期に繰延税金資産を計上した影響により、当期の法人税等が前年同期に比べ増加したため41百万円の損失（前年同期は44百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

### ①商品事業

ドレッシングカテゴリーでは、今年３月に発売した「ピエトロドレッシング　うま塩」、９月に発売した「ピエトロドレッシング　ゆず（九州限定）」が売上を伸ばした他、その他の定番ドレッシングも好調に推移し、国内においては前年同期の売上を上回りました。

パスタカテゴリーでは、ボトル入りパスタソース「おうちパスタシリーズ」は前期行ったムーミンコラボ販促の影響もあり、売上は前年同期に届かなかったものの、レトルトパスタソース「洋麺屋ピエトロ」は人気の「絶望スパゲティ」や「なすとひき肉の辛味スパゲティ」が好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。また９月にプレミアムシリーズのリニューアルを行い、「洋麺屋ピエトロ PREMIUM」として３品のフレーバーを販売しました。

冷凍食品カテゴリーでは、主力の冷凍パスタを中心に新規取り扱い店舗の配荷増や引き続きECでの販売も好調であり、前年同期の売上を大きく上回りました。

その他、成長カテゴリーのデリカ・フードサービス事業はラグジュアリーホテルや事業給食等への取引が増え、前年同期の売上を上回りました。北米の海外子会社では、日系や現地小売チェーンでの販売を着実に伸ばしましたが、主要ECモールにおける販売商品の切替期間に伴う一時的な影響等により、前年同期の売上を下回りました。

利益面では、国内での主力商品の原材料価格の上昇や新工場稼働に伴う一時費用の計上及び減価償却費の増加に加え、海外子会社でも諸物価高騰を背景とする製造委託費増加等により原価率が上昇するとともに、販売管理費においても人件費の増加や海外子会社の下期を見据えた積極的な販促活動による販売促進費の増加等、売上の伸びを上回る影響がありました。

この結果、セグメント売上高は39億91百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益は６億60百万円（前年同期比16.0%減）となりました。

②店舗事業

「価値を伝えるお店作り」を重点施策とし、メニュー戦略では、創業当初より大切にしてきた和テイストのパスタや具材にこだわった高付加価値メニュー、さまざまなドレッシングをお試しできるおかわりサラダ等でプラスαの価値を提供してまいりました。また接遇研修強化、スタッフの待遇改善によるモチベーションアップを図る等、味、雰囲気、サービスの総合点をさらに高める取り組みを行い、お客様満足度向上に向けた施策を実施いたしました。また出店戦略では、６月に大阪へ１店舗（イオンモール四條畷店）を新規出店いたしました。さらにファンベース&エリアマーケティングとして、アプリやSNS等を活用した情報発信でお客様との接点強化を図りました。これらの施策の結果、顧客単価、来客数ともに前年同期を上回り、既存店、新店ともに好調に売上を伸ばしました。

利益面では、原材料価格や人件費等の上昇もありましたが、売上が好調だったことに加え、前期に不採算店の閉店を実施したこと等もあり大きく利益が改善いたしました。

この結果、セグメント売上高は26億25百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益は1億83百万円（前年同期比298.1%増）となりました。

③その他（本社ビルの賃貸）事業

その他（本社ビルの賃貸）事業では、売上高91百万円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は33百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の資産では、前連結会計年度末に比べ31億61百万円増加し174億83百万円となりました。これは主に、新工場用設備の取得等により有形固定資産が30億81百万円増加したこと等によるものです。

負債では、前連結会計年度末に比べ33億20百万円増加し114億32百万円となりました。これは新工場建設に伴う長期借入金が26億59百万円、短期借入金が４億78百万円増加した他、未払金が２億46百万円増加したこと等によるものです。

純資産では、前連結会計年度末に比べ１億59百万円減少し60億51百万円となりました。これは譲渡制限付株式報酬制度に伴う自己株式の処分が36百万円増加した一方、前期決算の剰余金の配当１億66百万円及び親会社株主に帰属する中間純損失41百万円の計上によるものです。

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

| | 前中間<br>連結会計期間 | 当中間<br>連結会計期間 | 差額 |
|---|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 288 | △382 | △670 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,700 | △3,238 | △1,538 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,468 | 2,869 | △599 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △12 | 1 | 13 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 2,044 | △749 | △2,794 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 3,221 | 1,523 | △1,698 |

営業活動によるキャッシュ・フローでは、３億82百万円の支出（前年同期は２億88百万円の収入）となりました。税金等調整前中間純利益が19百万円であり、減価償却費３億21百万円の計上があったことと、未払又は未収消費税等が６億84百万円、棚卸資産が77百万円、売上債権が36百万円、未払金が35百万円それぞれ増加したこと等によるものです。未払又は未収消費税等が増加した主な要因は、新工場設備投資にかかる支払により消費税の支払が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、32億38百万円の支出(前年同期は17億円の支出)となりました。有形固定資産の取得(新工場用設備含む)による支出31億59百万円、定期預金の預入による支出70百万円、長期前払費用の取得による支出15百万円があった一方、敷金及び保証金の回収による収入16百万円があったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、28億69百万円の収入（前年同期は34億68百万円の収入）となりました。新工場建設に伴う長期借入金による収入26億59百万円、短期借入金による収入４億78百万円があった一方、配当金の支払額１億65百万円、支払利息による支出73百万円がそれぞれあったこと等によるものです。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、15億23百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

（単位：百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | １株当たり当期純利益（円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 前回予想（A） | 12,500 | 70 | △110 | △141 | △20.35 |
| 今回予想（B） | 13,000 | 70 | △110 | △171 | △24.64 |
| 増減（B-A） | 500 | ― | ― | △30 | ― |
| 増減率（%） | 4.0 | ― | ― | ― | ― |
| （ご参考）前期実績<br>（2026年３月期） | 12,146 | 197 | 53 | △32 | △4.77 |

詳細については、本日（2026年11月13日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## ２．中間連結財務諸表及び主な注記

### （１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,230,537 | 1,561,867 |
| 預け金 | 41,940 | 31,463 |
| 売掛金 | 1,639,088 | 1,676,231 |
| 商品及び製品 | 343,242 | 391,537 |
| 仕掛品 | 17,723 | 19,872 |
| 原材料及び貯蔵品 | 177,055 | 205,720 |
| その他 | 121,846 | 777,726 |
| 貸倒引当金 | △35 | △20 |
| 流動資産合計 | 4,571,400 | 4,664,399 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,999,610 | 6,913,968 |
| 土地 | 2,744,170 | 2,744,170 |
| 建設仮勘定 | 3,774,981 | 449,678 |
| その他（純額） | 609,923 | 2,101,955 |
| 有形固定資産合計 | 9,128,686 | 12,209,772 |
| 無形固定資産 | 70,909 | 72,422 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 412,452 | 403,434 |
| その他 | 157,989 | 152,624 |
| 貸倒引当金 | △19,216 | △19,213 |
| 投資その他の資産合計 | 551,225 | 536,846 |
| 固定資産合計 | 9,750,820 | 12,819,041 |
| 資産合計 | 14,322,221 | 17,483,440 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>(2026年３月31日) | 当中間連結会計期間<br>(2026年９月30日) |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 706,703 | 708,387 |
| 短期借入金 | 2,120,000 | 2,598,000 |
| 未払金 | 543,456 | 790,357 |
| 未払法人税等 | 68,529 | 81,839 |
| 契約負債 | 29,229 | 33,087 |
| 賞与引当金 | 78,431 | 82,406 |
| その他 | 423,118 | 319,599 |
| 流動負債合計 | 3,969,468 | 4,613,678 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,341,000 | 6,000,000 |
| リース債務 | 62,308 | 58,916 |
| 長期預り敷金 | 122,669 | 122,864 |
| 長期未払金 | 167,719 | 164,635 |
| 退職給付に係る負債 | 197,096 | 203,956 |
| 資産除去債務 | 251,255 | 268,029 |
| 固定負債合計 | 4,142,049 | 6,818,402 |
| 負債合計 | 8,111,518 | 11,432,080 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,719,897 | 1,719,897 |
| 資本剰余金 | 1,760,071 | 1,761,114 |
| 利益剰余金 | 2,886,661 | 2,678,612 |
| 自己株式 | △230,048 | △193,596 |
| 株主資本合計 | 6,136,582 | 5,966,028 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,304 | 18,305 |
| 為替換算調整勘定 | 61,815 | 67,025 |
| その他の包括利益累計額合計 | 74,120 | 85,330 |
| 純資産合計 | 6,210,702 | 6,051,359 |
| 負債純資産合計 | 14,322,221 | 17,483,440 |

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 6,010,887 | 6,708,014 |
| 売上原価 | 2,955,748 | 3,467,345 |
| 売上総利益 | 3,055,139 | 3,240,668 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,987,740 | 3,147,483 |
| 営業利益 | 67,399 | 93,184 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,731 | 2,932 |
| 受取配当金 | 308 | 511 |
| スクラップ売却益 | － | 1,900 |
| その他 | 1,423 | 1,512 |
| 営業外収益合計 | 4,463 | 6,856 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 49,889 | 73,495 |
| シンジケートローン手数料 | 49,844 | 1,966 |
| 為替差損 | 1,745 | 1,120 |
| その他 | 505 | 1,414 |
| 営業外費用合計 | 101,986 | 77,996 |
| 経常利益又は経常損失（△） | △30,123 | 22,045 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 194,522 | － |
| 特別利益合計 | 194,522 | － |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 64 | 2,087 |
| 減損損失 | 166,853 | － |
| 特別損失合計 | 166,918 | 2,087 |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△） | △2,519 | 19,957 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 83,686 | 50,706 |
| 法人税等調整額 | △41,224 | 11,029 |
| 法人税等合計 | 42,462 | 61,736 |
| 中間純損失（△） | △44,981 | △41,778 |
| 親会社株主に帰属する中間純損失（△） | △44,981 | △41,778 |

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 中間純損失（△） | △44,981 | △41,778 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,869 | 6,000 |
| 為替換算調整勘定 | △9,757 | 5,209 |
| その他の包括利益合計 | △7,888 | 11,210 |
| 中間包括利益 | △52,870 | △30,568 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | △52,870 | △30,568 |

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△） | △2,519 | 19,957 |
| 減価償却費 | 226,879 | 321,094 |
| 減損損失 | 166,853 | － |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | 15 | △17 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △371 | 3,975 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | 300 | 6,860 |
| 株式報酬費用 | 16,819 | 16,818 |
| 固定資産売却損益（△は益） | △194,522 | － |
| 固定資産除却損 | 64 | 2,087 |
| 受取利息及び受取配当金 | △3,039 | △3,443 |
| 支払利息 | 49,889 | 73,495 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △9,163 | △36,782 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △54,687 | △77,755 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 66,212 | 1,062 |
| 未払金の増減額（△は減少） | 30,047 | 35,966 |
| 未払又は未収消費税等の増減額 | △19,113 | △684,907 |
| その他 | △18,771 | △24,894 |
| 小計 | 254,893 | △346,483 |
| 法人税等の支払額 | △8,478 | △35,614 |
| 法人税等の還付額 | 42,156 | － |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 288,571 | △382,098 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | － | △70,330 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,376,173 | △3,159,825 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 716,674 | － |
| 無形固定資産の取得による支出 | △18,137 | △9,426 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 183 | 16,620 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △15,963 | △7,602 |
| 貸付金の回収による収入 | 3,821 | 3,921 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △14,177 | △15,474 |
| 長期預り金の返還による支出 | △3,308 | － |
| 長期預り金の受入による収入 | 3,462 | 195 |
| 利息及び配当金の受取額 | 3,039 | 3,443 |
| その他の支出 | － | △515 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,700,581 | △3,238,993 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 727,000 | 478,000 |
| 長期借入れによる収入 | 3,000,000 | 2,659,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △16,667 | － |
| リース債務の返済による支出 | △27,056 | △27,793 |
| 配当金の支払額 | △165,264 | △165,873 |
| 利息の支払額 | △49,247 | △73,612 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,468,765 | 2,869,721 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △12,020 | 1,894 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 2,044,735 | △749,476 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,177,010 | 2,272,478 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 3,221,746 | 1,523,001 |

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※１　販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は、以下のとおりです。

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 給与手当 | 1,114,988千円 | 1,147,286千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 64,065 | 69,185 |
| 退職給付費用 | 17,093 | 30,598 |

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

※１　現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係性

| | 前中間連結会計期間<br>（自　2025年４月１日<br>至　2025年９月30日） | 当中間連結会計期間<br>（自　2026年４月１日<br>至　2026年９月30日） |
|---|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 3,190,366千円 | 1,561,867千円 |
| 預入期間が３か月を超える定期預金 | － | △70,330 |
| 預け金勘定 | 31,380 | 31,463 |
| 現金及び現金同等物 | 3,221,746 | 1,523,001 |

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額(注)１ | 中間連結損益計算書計上額(注)２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 商品事業 | 店舗事業 | その他（本社ビルの賃貸）事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 3,507,947 | 2,413,869 | 257 | 5,922,074 | － | 5,922,074 |
| その他の収益 | － | － | 88,813 | 88,813 | － | 88,813 |
| (1) 外部顧客への売上高 | 3,507,947 | 2,413,869 | 89,070 | 6,010,887 | － | 6,010,887 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | － |
| 計 | 3,507,947 | 2,413,869 | 89,070 | 6,010,887 | － | 6,010,887 |
| セグメント利益 | 787,066 | 46,206 | 33,920 | 867,193 | △799,793 | 67,399 |

(注) １　セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は799,793千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「商品事業」において、固定資産の減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては166,853千円です。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額(注)１ | 中間連結損益計算書計上額(注)２ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 商品事業 | 店舗事業 | その他（本社ビルの賃貸）事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 3,991,706 | 2,625,273 | 30 | 6,617,010 | － | 6,617,010 |
| その他の収益 | － | － | 91,004 | 91,004 | － | 91,004 |
| (1) 外部顧客への売上高 | 3,991,706 | 2,625,273 | 91,034 | 6,708,014 | － | 6,708,014 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － | － |
| 計 | 3,991,706 | 2,625,273 | 91,034 | 6,708,014 | － | 6,708,014 |
| セグメント利益 | 660,847 | 183,950 | 33,807 | 878,605 | △785,421 | 93,184 |

(注) １　セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は785,421千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。